

# 東北同窓会開催報告

同窓会本部理事・企画委員会副委員長 小暮幹雄

明治学院同窓会は、創立150周年の序章としてのテーマ『同窓生として東北を考える』に沿って、『東北に行つて仲間と会おう』のスローガンを掲げ、2012年10月6日・7日の両日、宮城県名取市から松島に至る一部被災地を訪問いたしました。

皆言葉をなくしました。瓦礫処理の現場では市の職員の方がバスに同乗し、瓦礫処理の進捗状況を説明してくださいました。

東京及び近隣の県から71名の同窓生がバスや新幹線を利用して一路宮城へと向かいました。

夕方には仙台市内のR&B広瀬通りホテルにチェックインし、7時から江陽グランドホテルにて東北3県（宮城県、岩手県、福島県）支部からの45名と共に参加者全員での記念写真を撮影してパーティー開催となりました。懇親会には大西晴樹学院長も駆けつけてくださり、開会祈祷と挨拶をして頂きました。

東北での同窓会開催の主旨は、2011年3月11日に東日本大震災に遭われた同窓生とともに痛みを分かち合い、激励したいとの篤い気持ちから希望者を募つての開催でした。宮城県に入ってから、地方議員として活躍の同窓生がバスに同乗してくださり、大津波に遭つた閑上地区をバス内から視察し、一面には家のあつたはずなのに、今は土台しかなく、壮絶な津波が襲つた爪痕を見て、

懇親会では、同窓生でプロモーションの西村協氏（66年度生）によるオンステージショーがあり懐かしい曲を交え会場を盛り上げました。最後に全員で校歌を合唱して懇親会はお開きとなりました。

翌7日はバスと船で松島へ向かい、海からの被害状況も垣間見たり、周辺散策をしたりしてから帰路につき

ました。

今回参加された方々とバスの車中で、また懇親会場での交流や親睦を図ることができ、皆、口をそろえて『大変よい経験をさせていただきました』と言つておられました。

東北同窓会開催に当たり、東北3県の支部長及びご関係者には企画、準備の段階から大変お世話になりましたことに対し、改めてお礼を申し上げます。

